

私の将来の夢

私の将来の夢は保育士になることです。保育士になりたいと思つた理由は二つあります。一つ目は、小さい子供が好きだからです。二つ目は、私の通っていた保育園に小さい頃から憧れている先生がいるからです。その先生は、いつも明るく声をかけてくれてとても優しい先生です。

保育士になるためには、保育士の国家資格を取得する必要があります。そのためには、専門学校か、短大に行かなければなりません。今、私は高校でも保育に関わることを学べるI高校に行きたいと思つています。

私は、数学と理科が苦手です。勉強しようと思つてもなかなかその気になれなかったり、授業についていけなかったりして小学生の頃は、悔しくて泣いたりテストを丸めて捨てていたりした時に、母が今の塾を見つけてくれました。塾では、先生たちが明るく分かりやすく教えてくださり、なんとかついていけるようになりました。もっと頑張つて成績も上げていきたいと思つています。

だから私は、苦手の教科を投げやりにせず、習ったところの復習をして受験につなげていこうと思つています。

三年生 C

行きたい高校

もう三年生の九月になりましたが、僕は行きたい高校について悩んでいます。

二つの高校で悩んでいるのですがどち

らもオープンスクールに行きました。

一つ目の高校のG高校のオープンスクールでは、とても魅力的でおもしろそうだなと感じました。しかし、自宅から距離があり、徒歩や自転車で行くことが出来ず、バスで通学するか、寮に入るかしなければいけないため、交通費や寮費がかかってしまいます。

二つ目の高校はH高校です。G高校とH高校は少し似ていますが、個人的にはH高校の方が勉強のイメージが強く、オープンスクールでもあまりG高校ほどの魅力を感じませんでした。

だから僕は、G高校にしようと思つていました。G高校にしようと思つていましたが、中学校から始めた野球を高校でもやりたいと思つ、その意思を母に伝えました。すると母から、「もし高校で野球をするなら交通費がかからず近いH高校が良い。」と言われました。自分は将来、野球でプロを目指すほどの気持ちはありませんし、将来の夢も別にあります。しかし、野球が好きだから高校でもやりたいと思つています。

高校生になると中学生の時よりもっと勉強と部活の両立が難しくなる事もわかっています。特に野球部は難しいとは思いますが、しかし、まずは入試に合格しなければいけないので勉強を頑張りたいと思つています。

三年生 D

受験生になって

私は三年生になり受験生になりました。

受験生になったことで変わったことが二つあります。

一つ目は、勉強をしないとイケなくなつたことです。勉強嫌いな私にとって勉強ほど辛いことはありません。ですが行きたい高校があるので塾に行つてしっかりと勉強したいと思つています。

二つ目は、塾で少しずつ分かるところが増えてきたことです。小学校の時から通っていた塾ですが、中学生になって勉強が難しくなりました。私は英語と数学が大の苦手です。数学では、よく計算を間違えて先生に「ばかたれ。」と言われながらもがんばりました。英語では、英語の文が読めず、辛い思いもしながら読みました。それを続けて三つ目、ようやく少しは分かるようになりました。数学では少しずつだれど一年生の内容が分かつてきて数学が楽しくなってきました。英語では少しずつ読めるようになって、意味も分かるようになります。なんとか三年生の勉強内容についていけるようになりました。

少しずつ出来るようになったのは、私が何回も分からないと言つてもちゃんと教えてくれた先生達のおかげだと思つています。受験では、分からないところがあつてもあきらめずに問題を解いて、行きたい高校に受かるようにがんばりたいと思つています。

三年生 E

いやだけどするしかない

僕はとても勉強が嫌いで苦手です。

そんな僕が最近塾に行き始めました。き

つかけは二つあります。一つ目は、危機を感じたからです。三年生になった今、僕は受験という大きな壁があります。その受験では三年間の成績はもちろんです。入学試験と面接があります。僕は最初にも言ったとおり勉強が嫌いで苦手です。だから今少しでも勉強で成績を上げることが必要だと思つたからです。

二つ目は、勉強が少しでもできるようにならないと友達とのテスト後の話や学校での授業についていけません。話についていけない事は、僕の中ではとてもしんどくて辛い事です。

僕は母に三年間ずっと勉強をしろと言われ続けてきました。だけど僕はしませんでした。それが招いた現実がこの現状です。

勉強が嫌いな僕でも今ではできる教科が増えてきてとても嬉しいです。できない時は苦痛でストレスでしかなかった勉強が、できるとこんなにも嬉しくてすかつとするという事を知つたのです。

僕は他の人と違つてまだ将来の夢が決まっています。これが決まっているかどうかで高校へ提出する小論文の内容や選ぶ高校も変わってきます。でも僕は高校が選べる程成績が良いものではありません。だからとりあえず受験への近道はいやだと思つています。これが僕には必要だと思つています。

三年生 F

勉強のコツ(3)

前回までの通信で社会、理科、数学の勉強のコツを掲載しました。今回は英語の勉強のコツです。

英語の学習法

英語も日本語と同じく言語の一つだから、私たちが日本語を身につけた手順を踏めば、必ず習得できます。つまり、赤ん坊が、母親の呼びかけや家族の話しかけを耳から入力し、状況と合わせてその言葉が意味する内容を把握し、それをまねして再生産していく、これが言語習得の最も基本となる過程と言えます。

ただし、この方法は確実ですが、時間がかかります。だから、既に母国語を習得し、ある程度分析力と応用力が身についた中学生が英語を学習するには、発音のルール、英文の構造(文法)を合わせて学習すると短期間で学習効果を上げることができると考えられています。だから、学校では文法を教え、読みを重視するのです。

中学校から英語を学習する方法としては、次の二つのことが同時に必要です。

一 語彙力を増やす。

単語を覚えること、声に出しながら書いて覚える。(スペルを覚えるための手段としては、自分なりの読み方でもかまわない)語彙を増やすことは表現を豊にすることに繋がります。

二 英語特有の語順になれる。

英語学習を困難だと感じる最大の理由の一つは、英語の語順が日本語のそれと異なる

なっていることにあります。

まず例を見てみましょう。

例「健二は昨日公園で野球をしました。」
日本語では語順によって意味が変わることはありません。次のように言っても「健二」が主語であることに変わりはありません。

「昨日、公園で健二は野球をしました。」
このように日本語では、文の構成は、多くは「助詞」の助けを借りて表されているのです。ある言葉が主語であることは「くは」「は」という助詞で判断されるのです。これに対して英語は、語順で文の構成が表されます。次の例文を見てください。

Kenji played baseball in the park yesterday.

英語では主語は必ず動詞の前に置かれます。言い換えれば、文の先頭に主語が来て、その次に動詞が来ます。動詞の後には目的語(日本語で「くを」と表される)が続き、場所や時間はその後ろに置かれるという大原則を理解しなければなりません。日本語の例文で見たように、「健二は」は文中のどの位置にあっても主語であることに変わりはないのですが、英語ではそうはいきません。主語は、文の書き出しに置かれなければなりません。

英文を書くときには、常に「主語」は何か、「動詞」は何かと、「時制(現在・過去・未来のどれか)」を意識しながら書き進めます。

また、英文を読むときは、「主語」何か、「動詞」は何かを意識して、英文の前から

順に読むことを心がけましょう。

資料として、図や表、グラフが示されているときは、それらが伝えようとしている内容をまず理解してから英文を読み始めることが大切です。予備知識を持って英文にあたれば、内容理解が容易になることは言うまでもありません。また、意味の分からない単語に出くわしても、前後の内容からその単語の意味を推測しながら読み進めます。

次に、全く新しい英文を作成することは困難でも、実際には資料として与えられた英文や表・グラフの中に活用すべき英文が含まれているので、自分の意見を表すのに必要な英文を資料の中から見つければ良いこととなります。

最後に、語彙力を増やすことも含めて、今まで学んだことを、何度も何度も繰り返しやるのが大切です。
頑張ろう。



2018年度 塾生 募集 あすなる中学部

○少人数&個別指導で学べます。

○コースは2種類。

◇英数コース(週2回)

月14,000円

◇理社コース(週1回)

月6,000円

○授業料減免措置があります。

◇ひとり親家庭は半額免除

◇生活保護家庭は全額免除

○あすなる塾は授業料以外の経費(テキスト、模擬試験、夏季講座等)は徴収いたしません。

入塾受付

期間 随時(ただし、火・水・金曜日)

時間 16:30~18:00

場所 あすなる塾

○電話でも受け付けます。

TEL 0824-55-6301



岩

先達の文化に学ぶ

影山克典

県北が生んだ世界に誇れる文化の一つに「モミ制度」というものがある。

この「モミ制度」は、現在の安芸高田市高宮町の川漁師さんたちの間で育まれ、継承されてきた文化である。

『たたき』漁は、五、六艘の共同で行われるが、船の中には、三十年以上の手合いのいい熟練もいれば、今年からやり始めたという初心者もいる。すると、当然のこととして、技術的に秀れている船の方が鮎のとれ高が大きい。一晩に四カワもすれば、その差は倍以上になる。

・・・中略・・・このような技術の差が、とれ高に影響するから、自分の船がとつただけが、自分たちのとり分とする、といくら共同でも不満がうまれる。そこでモミ制度は、とれ高をすべて合わせて、均等割にしてしまう。モミには、上手も下手も、新入りも古参もない。すべて公平に扱われ、配分されるのである。

・・・中略・・・モミは、単に、分前を均等にするのみでなく、漁を守り、技術を継承させ、生活を守り続けるための『掟』として、自然の理にかなった知恵である。それは、人間としての節操であり、崇高な被差別の『文化』といえる。「川に生きるー江の川に生きる被差別の知恵―第一集―より」

私がこの「モミ制度」の存在を知ったの

は、高宮町の高宮高校に勤務していた頃、一九八〇年代の半ばであった。

私には大きな衝撃だった。人間誰しも平等思想を行使しようと思うときはあらゆる。しかし現実の生活の中では、そのような行為の継続は難しい。正直これはすごいと思つた。

あれから約四〇年が経過しようとしている。「モミ制度」の現在は知らないが、今私に問われるのは、あのと時の出会いをどのように活かしているのか、ということだと思つた。

私は現在「あすなる塾」にかかわつて三年目となる。「経済格差を教育格差にしない」を基本理念に塾は運営されている。そのため授業料は格安に設定されている。企業や地域の人々、行政の支援を受けてなんとか運営しているが、実情はいつも苦しい。また、当然のことながら塾に集う生徒の中には、勉強の得意な生徒もいれば、不得意な生徒もいる。両方を伸ばしていくための授業のあり方にはいつも苦悩と工夫を余儀なくされる。さらに、生徒はそれぞれ様々な事情や背景を抱えて塾に通っている。

それらたくさんさんの課題を前に、時々弱気になることもある。そのような時「頑張らなければ」と思い直させてくれるのが、先にも述べた先達の生き方である。先達の育んだ文化の継承などという大それたことは考えない。ただ、あの文化の思想に少しでも近づけたらと考える。

今年もボツボツ頑張っていきたい。

ご支援をいただいている

企業・団体

- ・ミヨシ電子株式会社
(三次市東酒屋町)
- ・(株)三次衛生工業社
(三次市四拾貫町)

ご支援いただいた皆様

- ・山田公主 (三次市島敷町)
- ・瀬戸三蔵 (三次市三良坂町)
- ・中村公子 (三次市十日市中)
- ・本廣修 (三次市三和町)
- ・小根森直子 (三次市十日市東)
- ・石田繁春 (三次市三良坂町)
- ・匿名 三名 (三次市、庄原市)



NPO法人あすなる・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動は出来ないが、寄付金等でご協力できる企業や個人

個人年会費：1口(5,000円)以上

企業等年会費：1口(10,000円)以上

特典：あすなる通信送付(年3回発行)

問合せ：あすなる通信の発行住所と同じ(TEL・FAXとも)